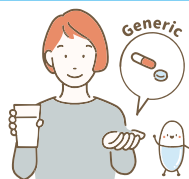


薬代で医療費節約

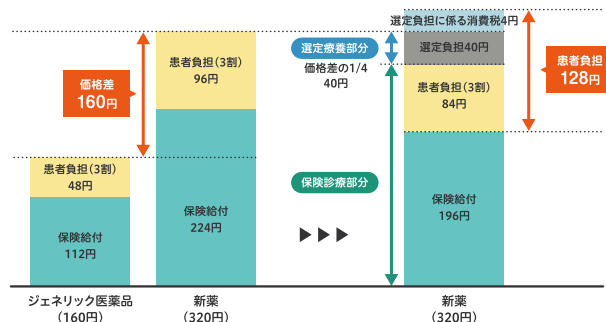
ジェネリック医薬品を使ってみましょう



ジェネリック医薬品の特長

1 研究・開発費が抑えられるため、安価

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許期間が切れた後に、同じ有効成分を使って製造・販売される後発医薬品のことで、研究・開発費が抑えられるため価格が低く設定されています。また、2024年10月からは、先発医薬品を希望する場合に価格差の4分の1を自己負担する「選定療養」が導入され、価格差がさらに広がりました。



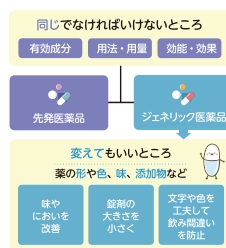
2 効き目や安全性は先発医薬品と同じ

ジェネリック医薬品は、国の厳しい試験によって、品質、効き目、安全性が先発医薬品と同等であることが確認されています。国の基準をクリアしたものだけが、ジェネリック医薬品として認められて販売されます。



3 改良されたジェネリック医薬品も

ジェネリック医薬品の中には、新しい技術により飲みやすく味や形状が改良されたものや、文字や色などを変えて飲み間違いを防ぐ工夫が施されているものがあります。



4 高い普及率

国内のジェネリック医薬品の普及率は2023年時点で約80% (数量ベース)、医療費削減効果は約1.6兆円※と試算されています。10年前の47%と比較すると大幅に上昇し、広く選ばれていることがわかります。

※「後発医薬品(ジェネリック医薬品)及びバイオ後続品(バイオシミラー)の使用促進について」および「令和6年度薬価基準改定の概要」(厚生労働省)より

お薬代いくら節約できる？

ジェネリック医薬品差額通知でご確認ください

当健保組合では、医師の処方により薬を購入された方で、ジェネリック医薬品に切り替えることで500円以上の差額が出る場合、ジェネリック医薬品差額通知を年2回、個人別にご自宅へ送付しています※。

ジェネリック医薬品に切り替えるといくら節約できるかが、医薬品ごとに分かるようになっています。薬代を節約することは、ご自身だけでなく、当健保組合の財政負担の削減にもつながりますので、この機会にジェネリック医薬品に切り替えてみましょう。

※Pep upでは、差額が500円に満たない方にもお知らせをしています。

バイオ後続品(バイオシミラー)をご存じですか？

先行バイオ医薬品(バイオ医薬品)は、遺伝子組換えや細胞培養などのバイオテクノロジーを応用して作られた薬です。がんや自己免疫疾患などへの治療効果が期待されているのですが、非常に高額なのが課題です。

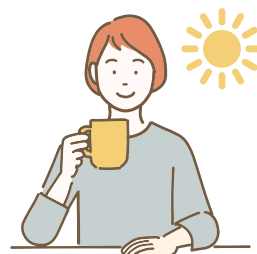
そこで注目されているのがバイオ医薬品の後続品「バイオシミラー」です。国の厳しい試験によって、効き目、安全性が先行バイオ医薬品と同等であることが確認されています。価格が約70%に抑えられるので、患者の負担軽減だけでなく、国の医療費削減にもつながると期待されています。

すぐ始められる朝の健康習慣

平日の朝はぎりぎりまで寝て、急いで準備、出社する。そんな日々を送っていませんか？

朝は脳や体が活動モードに切り替わる時間のため、ちょっとした健康習慣をプラスするだけで1日を元気に過ごすことができます。また、病気のリスクを減らしたり、太りにくい体質になったりと、たくさんのメリットがあります。

今回は、すぐに始められる「忙しい方向け朝の健康習慣」を紹介します。



詳しくは
WEBで▼

